

形式：オンラインセミナー（Live 配信）

補足： Live 配信に加え【見逃し配信】も実施します。当日の受講が難しい場合は見逃し配信をご視聴ください（配信期間は 10 日間程度）

ジャンル：汎用スキル（QC, ものづくり, ビジネス）

講習会コード： t d s 2 0 2 5 1 2 0 5 a 1

ChatGPT×発想法で、新たな価値を創造！ 2.5 時間で生成 AI を活用した市場理解、ターゲット設定、アイデア創出から製品コンセプト設計、プロトタイピングまでを体系的に学び、自社の商品開発に直結する実践力を磨くセミナーです。

ChatGPT で切り拓く！新商品開発プロセス 実践講座

～生成 AI 活用によるアイデア発想と製品コンセプト創造～

講師：K-MAX コンサルティング 代表 河合 正嗣 氏

11983 年 早稲田大学社会科学部卒業。同年（株）ポッカコーポレーション（現ポッカサッポロフード&ビバレッジ株式会社）に入社し、営業、営業企画、マーケティングなどに従事。1997 年 同社を退社し、1999 年より現職。主に新商品開発や企画立案、提案営業についてのコンサルティングに従事し、数多くの企業で実績を上げている。また、各地の商工会議所、中小企業大学校での講師も務める。著書には『<ヒット！> 商品開発バイブル』（共著、アスカ出版社、2001）などがある。現在、東京都 中小企業診断士協会広報部長も務める。

●日程 2025 年 12 月 5 日（金） 13:00 ～15:30

●受講料 1 名 19,800 円（税込／テキスト）

1. 導入

- ① タイトル・オープニング
- ② 本日のゴール
- ③ アジェンダ

2. 生成 AI の基本と可能性

- ① 生成 AI とは？（ChatGPT を中心に）
- ② AI でできること・できないこと
- ③ AI と人間の発想の違い（補完関係）
- ④ 発想支援としての ChatGPT の使い所
- ⑤ デモ 1：ChatGPT でアイデアを拡散
- ⑥ ポイント整理：ブレインストーミング基礎

3. 市場理解とターゲット・インサイト

- ① 市場調査の基本（定量・定性）
- ② ChatGPT で市場構造を俯瞰
- ③ ターゲット分析とペルソナ生成
- ④ デモ 2：ペルソナ生成と比較
- ⑤ 補足 1：なぜターゲット像がいきなり生成できる？
- ⑥ 補足 2：インサイトは ChatGPT で探れないのか？
- ⑦ トレンド確認と仮説立案
- ⑧ まとめ（市場理解→仮説化）

4. 未知分野への挑戦

- ① 未知分野探索フロー（ゼロ知識からの入り方）
- ② デモ 3：未知分野の課題抽出
- ③ 補足 4：未知分野での商品開発の勘所

5. アイデア創出と「〇〇できる」でのグルーピング

- ① 発想技法 SCAMPER の要点
- ② デモ 4：SCAMPER×ChatGPT で発想拡散
- ③ アイデア整理：〇〇できるでのグルーピング

- ④ グループから基本コンセプトを抽出
- ⑤ 魅力を高める補助コンセプトの選定
- ⑥ 外せない要素 = 機能コンセプトの抽出
- ⑦ デモ 5：基本 + 補助 + 機能を組み合わせたコンセプト文
- ⑧ セクションまとめ（河合式三層構造）

6. プロトタイピングと検証

- ① プロトタイピングとは（MVP※の考え方）
- ② ChatGPT で作るプロトタイプ説明資料
- ③ デモ 6：仮想ユーザーへの簡易テスト
- ④ フィードバック収集と改良ポイント
- ⑤ レビュー分析の活用
- ⑥ デモ 7：レビューから改良点抽出
- ⑦ 改善プロンプトの作り方

※Minimum Viable Product：実用最小限の製品

7. マーケティング視点

- ① 戦略とコンセプトの関係
- ② ターゲット別メッセージ設計
- ③ デモ 8：広告コピー生成（簡易版）
- ④ セクションまとめ

8. 応用とまとめ

- ① 長期的に成功するための視点
- ② 継続的な改善ループの重要性
- ③ トレンドの継続リサーチ
- ④ 応用例：他領域への展開
- ⑤ 継続的イノベーションの仕組み化
- ⑥ 本日の学びの振り返り
- ⑦ 明日からの実践アクション（3 点）
- ⑧ 全体 Q&A
- ⑨ クロージング

【修得知識】

- ① ChatGPT を活用した市場理解・ターゲット設定・ユーザーインサイト探索の方法
- ② SCAMPER などの発想法と ChatGPT を組み合わせた効率的なアイデア創出手法
- ③ 「誰に・何を・どう違うか」に基づいた製品コンセプトの立案と強化のプロセス
- ④ フィードバックやレビューを活用したブラッシュアップと、次のアイデア発想への応用法
- ⑤ 未知分野の商品開発における ChatGPT の活用アプローチ（ゼロ知識領域での探索・仮説化・課題抽出）

【講演概要】

本講座では、生成 AI（特に ChatGPT）を活用して新しいアイデアを生み出し、それを効果的な製品コンセプトへと発展させるプロセスを体系的に学びます。まず生成 AI の基本と発想支援の可能性を理解した上で、市場調査やターゲット・インサイトの発掘に AI をどう活用できるかを確認します。さらに、未知分野での探索手法を紹介し、大量に生成されたアイデアを「〇〇できる」でグルーピングすることで、基本コンセプト・補助コンセプト・機能コンセプトの三層構造に整理する 独自手法を体験していただきます。加えて、プロトタイピングを通じてコンセプトが実際に機能するかを検証し、レビューや改善プロンプトによるブラッシュアップの方法を学びます。最後に、マーケティングやトレンド調査の視点も交えて、継続的なイノベーションへとつなげる流れを示します。受講後は、自社の商品開発に AI を取り入れる具体的なステップを明確に描けるようになります。

<お申込要項>

下記に必要事項をご記入の上、FAXにてお申込みください（※は必須です）

FAX
03-6261-7924

申込講座	2025/12/5	ChatGPTで切り拓く！新商品開発プロセス 実践講座	受講プラン (複数ある場合)
会社名※			
所在地※ (請求書等の送付先)	〒		
参加者①	氏名※		TEL※
	所属※		FAX
			役職
	Email※		@
会員登録	<input type="checkbox"/> 登録する <input type="checkbox"/> 登録しない (登録料・会費はかかりません。お得な割引や会員イベント情報等を配信します)		
参加者②	氏名※		TEL※
	所属※		FAX
			役職
	Email※		@
会員登録	<input type="checkbox"/> 登録する <input type="checkbox"/> 登録しない (登録料・会費はかかりません。お得な割引や会員イベント情報等を配信します)		
支払方法※	<input type="checkbox"/> 銀行振込（紙請求書） <input type="checkbox"/> 銀行振込（PDF請求書） <input type="checkbox"/> カード支払い <input type="checkbox"/> 未定のため後日連絡する		
支払予定日※	<input type="checkbox"/> []月 []日ごろを予定している <input type="checkbox"/> 未定のため後日連絡する		
備考※			

※【個人情報の取扱いについて】 ご記入された個人情報については、当社規定の「個人情報の取扱い」に基づき、適切に管理・運用いたします（詳細 https://www.tech-d.jp/privacy/apply_privacy.pdf）。

お申込について

① 以下のいずれかの方法でお申込みください

A	FAX	上記に必要事項をご記入の上、送信ください
B	E-mail	送信先： entry@tech-d.jp メール本文に<①【申込講座】 ②【会社名】 ③【所在地】 ④【氏名】 ⑤【所属】 ⑥【Email】 ⑦【TEL】 ⑧【支払方法】、⑨【支払予定日】>をご記入の上、ご送信ください
C	Web	https://tech-d.jp/ の各講座のページからお申込みください

② お申込受付後、受付完了のご連絡（メールまたはお電話）をいたします

③ 請求書等をお送りいたします

<注意>

① お申込後1週間たっても受付完了の連絡がなかった場合は、お手数ですが、弊社までご連絡ください

② 開催日の7日前以内のキャンセルはお受け致しかねます。必要に応じ代理の方のご出席をお願いいたします

お支払について

<期日>

受講料は講習会開催日の翌月末日までにお支払いください

※期日までに間に合わない場合は、対応いたしますのでご一報ください

<方法>

①銀行振込（振込手数料は御社にてご負担願います）

②クレジットカード（支払方法はメールでご案内します）

【お振込先】

振込先銀行	三井住友銀行
支店	多摩センター支店（909）
口座番号	（普）0973522
名義	株式会社テックデザイン

主催 申込・問合せ先	名称	株式会社テックデザイン（ http://www.tech-d.jp/ ）		
	住所	〒102-0072 東京都千代田区飯田橋1-12-15 九段大和ビル3階		
	電話	03-6261-7920	FAX	03-6261-7924
	E-mail	entry@tech-d.jp（申込） / info@tech-d.jp（問合せ）		